

# Part 1 : Individuals

## 1

## FILING REQUIREMENTS

### SU1-Q1 納税者の基本情報

申告書を作成する前に入手する必要がある納税者情報は以下のどれか。

- A. 滞在状況。
- B. 納税者の年齢。
- C. 婚姻状況。
- D. 上記の全て。

### Online 国外金融口座&資産の報告義務

連邦（所得税）申告書を電子申告する場合、Form 8938：特定外国金融資産報告書と Form 114：外国銀行及び金融口座報告書の提出する必要がある納税者は、

- A. 連邦（所得税）申告書に両方の Form を添付する。
- B. 連邦（所得税）申告書に Form 8938 のみ添付し、金融犯罪組織ネットワーク (FinCEN) の電子申告システムを通じて Form 114 を提出する。
- C. Form 114 に Form 8938 の情報が含まれているため、連邦（所得税）申告書に Form 114 のみ添付する。
- D. 両方の Form を別々に内国歳入庁 (IRS) に提出する。

### SU1-Q2 申告資格の選択

John と Linda Smith は子供のいない夫婦で当年度はずっと別居していた。当年度の 12 月 31 日、夫妻は別居命令により法的に別居した。これらの事実に基づき、当年度に夫妻が選択できる唯一の申告資格は以下のどれか。

- A. Married filing joint return  
(夫婦合算申告)
- B. Married filing separate return  
(夫婦個別申告)
- C. Head of household (特定世帯主)
- D. Single (単身者)

### Online 配偶者の死亡年度

20X1 年に Lisa は結婚しており扶養家族である子供が 2 人いた。夫は 4 月に死亡し、Lisa は 20X1 年が終わるまで再婚しなかった。20X1 年の申告書で Lisa が使用すべき申告資格は以下のどれか。

- A. Single (単身者)
- B. Married Filing Jointly (夫婦合算申告)
- C. Head of Household (特定世帯主)
- D. Qualifying Surviving Spouse  
(適格寡婦/夫)

**SU1-Q3** 特定世帯主（みなし独身）

既婚の納税者が Head of household（特定世帯主）として申告するためにみなし独身となるかどうかを決定する上で満たす必要のない要件は以下のどれか。

- A. Separate return（夫婦個別申告）をしなければならない。
- B. 当課税年度における家計維持費の半分超を負担してしなければならない。
- C. 1 年間にわたり、納税者または養育権を持たない親が扶養家族として申告することができる実子、継子または養子と同居してなければならない。
- D. 配偶者と当課税年度の後半 6 カ月の間別居してなければならない。

**Online** 特定世帯主（同居の要件）

Head of household（特定世帯主）として申告する際に満たす必要のない要件は以下のどれか。

- A. あなたは、配偶者と当課税年度の後半 6 カ月の間別居していた。
- B. あなたは、1 年間にわたり家計維持費の半分超を負担した。
- C. あなたは、1 年間にわたり里子と同居していた。
- D. あなたは、当年度の最終日において独身またはみなし独身である。

**Online** 特定世帯主  
（家計維持費の 50% 超）

Phil は 2023 年において独身だった。扶養家族である娘の Susan は 1 年を通して彼と同居していた。2 人が住んでいる自宅の固定資産税 \$2,500 と住宅ローンの利息は元妻と半分ずつ負担した。Phil は毎月 \$200 の水道光熱費を支払った。Phil が Head of household（特定世帯主）として申告する際、家計維持費として使用できる金額はいくらか。

- A. \$6,150
- B. \$4,950
- C. \$3,750
- D. \$9,900

**SU1-Q7** 申告義務

Mr. Todd は 43 歳で、2023 年 5 月から妻と別居している。2023 年において、彼が扶養家族として申告できる 2 人の子供は 1 年を通して彼と同居し、家計維持費の全額を彼が負担した。Mr. Todd が 2023 年に Joint return（夫婦合算申告）をする資格がないと仮定すると申告義務が生じるのは総所得が少なくともいくらである場合か。

- A. \$5
- B. \$27,700
- C. \$13,850
- D. \$20,800

**Online** 申告義務

以下のうち、2023 年において申告義務が生じない状況はどれか。

- A. 独身、申告資格は単身者、65 歳未満、総所得は \$19,850。
- B. 既婚、夫婦合算申告、配偶者と共に 65 歳未満、総所得は \$32,700。
- C. 独身、申告資格は単身者、70 歳、総所得は \$15,300。
- D. 既婚、夫婦個別申告、65 歳、総所得は \$10,000。

**SU1-Q9** 申告期限と延長

以下のうち、2023 年の申告書に関して Form 4868：連邦個人所得税申告書の提出期限自動延長申請書の提出について正しい記述はどれか。

- A. Form 4868 を提出すれば、未納税額に対する利息は課されない。
- B. Form 4868 を提出すれば、申告期限が自動的に 8 カ月延長される。
- C. Form 4868 を提出しても利息は発生し、通常の納付期限までに納税しないと未納税額に対し延滞納付に関する罰則金が課される場合がある。
- D. 4 月 15 日の時点で国外にいる米国市民は、Form 4868 の上部に「Out of the Country」と明記すれば、さらに 12 カ月の申告期限の延長が認められる。

**Online** 扶養家族（総所得の要件）

父親を扶養家族として申告する際の「総所得」の要件を満たすために、納税者は父親が受け取った所得を考慮した。所得には、賃貸収入\$4,000（経費は\$2,000）、ミューチュアル・ファンドの地方債の利息\$1,200、社債の利息\$1,000、配当\$1,400、給与\$2,000、社会保障給付\$4,000が含まれていた。扶養家族の要件における父親の総所得はいくらになるか。

- A. \$2,000
- B. \$8,400
- C. \$9,600
- D. \$11,600

**Online** 扶養家族（国籍の要件）

コスタリカ市民（国籍）である Luis と Rosa は 2021 年に米国に移住し、2 人とも米国で働いている。2023 年において、彼らは 4 人の幼い子供（全員 10 歳以下）の生活費を全額負担した。2 人の子供は米国で Luis と Risa と同居し、1 人の子供はメキシコでおばと暮らし、1 人の子供はコスタリカで祖母と暮らしていた。所得がある子供はいなかった。子供は全員コスタリカ市民（国籍）である。メキシコにいる子供はメキシコ居住者であり、コスタリカにいる子供はコスタリカ居住者である。Luis と Rosa が 2023 年度の Joint income tax return（夫婦合算申告書）で申請できる扶養家族は合計何人か。

- A. 0 人
- B. 2 人
- C. 3 人
- D. 4 人

**Online** 扶養家族（扶養の要件）

Mrs. Brown の課税所得は\$600、社会保障給付は\$1,800、非課税の利息は\$200であった。彼女はこれらの所得を全て自身の生活費に使った。生活費の残りは彼女の息子が支払った。息子が Mrs. Brown を扶養家族として申告するため扶養の要件を満たすにはいくらの援助が必要か。

- A. \$900
- B. \$1,800
- C. \$2,100
- D. \$2,700

**Online** 親の扶養家族である子供の  
不労所得

12 歳の Marcy は 2023 年中にベビーシッターをして\$400を稼いだ。両親は彼女を扶養家族として申告している。彼女はまた、当年度に\$3,000の利息及び配当収入があった。彼女は Itemized deduction（項目別控除）を選択していない。彼女の 2023 年度の純不労所得はいくらか。

- A. \$3,400
- B. \$3,000
- C. \$1,750
- D. \$500

**SU1-Q19** 非居住外国人の申告

カナダ市民（国籍）及び居住者である Jean Blanc は米国ホッケーチームに所属するプロのホッケー選手である。契約に基づき、彼は当年度に 165 日間プレーし、\$68,500 を受領した。165 日のうち、132 日は米国でプレーし、33 日はカナダでプレーした。Form 1040NR の総所得に含められる金額はいくらか。

- A. \$0
- B. \$34,250
- C. \$54,800
- D. \$68,500